

第4回「外来語」言い換え提案

—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—

平成18年3月

国立国語研究所「外来語」委員会

目 次

第4回「外来語」言い換え提案	1
第4回で取り上げた語	5
凡例	6
語別の提案	8
国立国語研究所「外来語」委員会設立趣意書	4 3
委員名簿	4 5

第4回 「外来語」言い換え提案

—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—

○提案の背景と目的

国立国語研究所の調査では、国の省庁の行政白書や新聞など、公共性の高い文章に使われている外来語には、一般の人々にとってなじみの薄い分かりにくいものが多いことが分かっています。このような、外来語の使用状況を見ると、読み手の分かりやすさに対する配慮よりも、書き手の使いやすさを優先しているように見えます。

本提案の目的は、このような公共性の高い場面における外来語使用の現状をふまえ、分かりにくい外来語を分かりやすくするための方策を、言葉遣いの工夫として提示することにあります。提案の本体では、対象とした個々の外来語に対して、どのような言い換え語を当てるのが最も適切であるのか、また、外来語に説明を施すとしたらどのような表現を選べばよいのか、その目安・よりどころを具体的に示しています。

外来語には日本語をより豊かにするという優れた面もあります。しかし、むやみに多用すると円滑な伝え合いの障害となる面も出てきます。官公庁、報道機関など公共性の高い組織ではそうした事態を招かないよう、それぞれの指針に基づいて、言い換えや注釈など受け手の理解を助ける工夫をすることが大切です。本提案は、そのための基本的な考え方と基礎資料を提供するものです。

○分かりにくい外来語とは

本提案では、外来語の分かりにくさを知るための目安として、その外来語の意味が国民にどのくらい理解されているのか、すなわち語ごとの「理解度」に着目しています。国民各層に対する調査に基づいて、その語の理解度の数値が一定の水準に達していなければ、それはいまだ十分に定着していない外来語であり、分かりにくいものと考えました。

理解度は、大きく4段階に分けて把握することとし、語ごとに星印の数で、次のように表示しています。

- ★☆☆☆ その語を理解する人が国民の4人に1人に満たない段階
- ★★☆☆ その語を理解する人が国民の2人に1人に満たない段階

★★★★☆ その語を理解する人が国民の4人に3人に満たない段階

★★★★★ その語を理解する人が国民の4人に3人を超える段階

本提案では、★☆☆☆から★★★★☆までの3段階に属する語を「分かりにくい外来語」として扱っています。★★★★★の語は、既に十分に定着している外来語であると考えました。

○分かりやすくするために

一口に分かりにくい外来語と言っても、個々の外来語にはそれぞれに固有の背景や事情があり、一律に機械的な扱いができるわけではありません。実際に分かりやすい言葉遣いを工夫するためには、それぞれの特性をとらえた上で、言い換え語を採用するのがよいのか、あるいは外来語に何らかの説明を付与するのがよいのか、一つ一つきめ細かな対応を考える必要があります。

これまでに行った第1回から第3回までの提案を含めて、本提案を利用しながら、分かりやすい言葉遣いを工夫する際に、いつも念頭において頂きたい留意事項を列挙すれば、次のとおりです。

(1) 語による理解度の違いに配慮を

星印による理解度の表示は、語により★☆☆☆から★★★★☆まで大きな幅があります。対応の仕方の目安として、★☆☆☆の語は、最も分かりにくい外来語であり、公的な場面でそのまま用いることは避けるべき語と考えます。★★★★☆☆の語も、現状では、外来語のままで用いることは避けたい語ですが、今後、普及定着に向かう可能性のある語も含まれています。★★★★☆の語は、定着に向かって進行しつつあり、外来語を用いることにさほど問題のない場合も多いと思われませんが、幅広い層の人に理解してもらう必要がある場合には、まだ何らかの手当てが必要な語と言えます。

(2) 世代による理解度の違いに配慮を

星印による理解度の表示は、「国民全体」についての情報の外に、「60歳以上」の情報を特に取り上げて示しています。国民全体として見れば、理解度が★★★★☆であり定着が進んでいるように見える語であっても、この年齢層を見ると、それより低い段階の★★☆☆☆や★☆☆☆に止まっている語が少なからず認められるからです。これらの外来語については、伝える相手の中に高齢層が含まれる場合には、言い換えや説明付与など何らかの手当てが必要となりま

す。

(3) 言い換え語は外来語の原語に対するものではないことに注意を

本提案における「言い換え語」や「意味説明」は、あくまでも実際に日本語の中で使われている外来語に対するものであり、外来語のもとの言語である原語の意味・用法をそのまま反映しているわけではないことに注意が必要です。

例えば、英語の **reduce** は、原語では広く一般的に「減らす」という意味で使われていますが、日本語に入った外来語「リデュース」は、環境分野で「ごみを減らす」という意味に限定して使われています。このように、外来語の意味・用法が、原語での意味・用法から目立ってずれている場合は、その旨を「手引き」欄で言及するようにしています。

(4) 場面や文脈により言い換え語を使い分ける工夫を

同じ外来語でも、用いられる場面や文脈によって意味合いを変えることがあります。外来語にも意味の広がりがありますので、一つの言い換え語ですべての場合に対応できるわけではありません。場面や文脈によって言い換え語を適切に使い分ける工夫が必要となります。

例えば「リバウンド」の場合、「揺り戻し」のほかに「その他の言い換え語例」や「手引き」欄に示した「跳ね返り」「反発」などの語例を参考にして、その場面や文脈に最もふさわしい表現を選択する必要があります。

(5) 専門的な概念を伝える場合は説明を付け加える配慮を

特定の分野で専門的に用いられる外来語は、その分野内での正確で迅速な伝え合いのためには効果的ですが、そのまま一般の人に対して使っても、理解されるとは限りません。適切な言い換えができればよいのですが、言い換えることでかえって概念があいまいになり、混乱が生じることも考えられます。

例えば「ナノテクノロジー」の場合、一般の人に対してそれがどんなものであるのか、およその意味を伝えるのであれば「超微細技術」でよいと思われませんが、具体的にどのくらい微細であるのか、専門的で細かな説明が必要な場合には必ずしも適当ではありません。このような場合は、外来語を使いつつも、それに正確な説明を付け加えることがむしろ有効です。

(6) 現代社会にとって大切な概念の定着に役立つ工夫を

特定の分野で使われ始めた外来語の中には、その語の表す概念がはまだ一般

にはなじみの薄いものであっても、現代社会にとっての大切な概念として、普及定着が望まれているものもあります。そのような外来語が、例えば語が長くて覚えにくいなど、普及にとって不利な条件を持つ場合には、あえて言い換え語を新しく造語するなど、定着に役立つ工夫をする必要もあります。

例えば、本提案では第2回に、「ノーマライゼーション」に対して、「等しく生きる社会の実現」という意味で、「等生化」という言い換え語を新しく造語しています。

第4回で取り上げた語

アクセシビリティ accessibility … 8	ネグレクト neglect …… 26
アミューズメント amusement …… 9	バイオテクノロジー biotechnology … 27
オーガナイザー organizer ……10	バイオマス biomass …… 28
オーナーシップ ownership …… 11	ハイブリッド hybrid …… 29
オフサイトセンター off-site center … 12	ヒートアイランド heat island …… 30
オペレーション operation …… 13	ビオトープ Biotop ドイツ語 …… 31
カスタムメイド custom-made …… 14	フリーランス freelance …… 32
クライアント client …… 15	メディカルチェック 和製語 …… 33
コージェネレーション cogeneration … 16	リードタイム lead time …… 34
コンポスト compost …… 17	リターナブル returnable …… 35
サプリメント supplement …… 18	リデュース reduce …… 36
サムターン thumb turn …… 19	リバウンド rebound …… 37
センサス census …… 20	リユース reuse …… 38
ソフトランディング soft landing … 21	リリース release …… 39
デポジット deposit …… 22	レシピエント recipient …… 40
ドナー donor …… 23	ワークシェアリング work-sharing … 41
トラウマ trauma/Trauma ドイツ語 …… 24	ワンストップ one-stop …… 42
ナノテクノロジー nanotechnology … 25	

- * 外来語の表記法は、規範を示すものではない。
- * 外国語から直接取り入れられた語は、原語での綴りと言語名を示す。
- * 言語名の記載がないものは、原語は英語。
- * 本提案での言い換え語や意味説明は、あくまでも実際に日本語の中で使われている外来語に対するものであり、原語の意味用法をそのまま反映しているわけではない。

凡 例

1. 対象とした外来語を五十音順に掲げる。

2. 語ごとに提示する情報の構成は次のとおりである。

・ 外来語	}	すべての語について提示
・ 理解度		
・ 言い換え語		
・ 用例		
・ 意味説明		
・ 手引き	}	必要に応じて提示
・ その他の言い換え語例		
・ 複合語例		

3. **外来語** には見出し語形を掲げる。その表記は、「外来語の表記」（平成3年内閣告示・内閣訓令）による。

4. **理解度** は外来語の右側に、国民各層に対する調査の結果に基づいて、語の理解度の段階を示す。その語の「意味が分かる」と答えた人の比率を、星印を用いて次のように表示する。国民各層を全体と60歳以上とに分けて掲げる。

★☆☆☆	25%未満
★★☆☆	25%以上 50%未満
★★★☆☆	50%以上 75%未満
★★★★	75%以上

5. **言い換え語** は、外来語を言い換えるのに最も適当だと考えられる語を掲げる意味区分のあるものは、(1)(2)…と区分し、区分ごとに言い換え語を掲げる。言い換え語は、あくまでも実際に日本語の中で使われている外来語に対するものであり、原語の意味用法をそのまま反映しているわけではない。

6. **用例** は、外来語の使用例の典型的なものについて、その外来語の上に**言い換え語**を示す形で掲げる。使用例は、白書・新聞の実例から採る。**用例**の外来語表記は、見出し表記に合わせて修正したことがある。

7. **意味説明**は、意味や概念を簡潔に分かりやすく提示し、括弧書き・注記・文中展開などの方法で、外来語に対する説明として用いることのできる形で掲げる。
8. **手引き**は、**言い換え語**欄に言い換え語を並記した場合の使い分けの目安や**その他の言い換え語例**を使うべき場合などについて解説する。また、その外来語や、言い換えに当たっての、留意点を掲げる。
9. **その他の言い換え語例**は、**言い換え語**に示した語以外で、文脈や場面により、最適となる言い換え語がある場合に、掲げる。それらの使い分けなどが問題になる場合は、**手引き**に記す。
10. **複合語例**は、その外来語を含んだ複合語で、よく用いられるもののうち、**言い換え語**に示した語を機械的に当てはめることができないものにつき、具体的な言い換え語とともに掲げる。

○アクセシビリティ

全 体 60 歳 以上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 利用しやすさ

用例 情報機器に対する 利用しやすさ アクセシビリティを保証することは、いまや世界的に基本的人権の一つとして考えられている。

意味説明 情報やサービスなどが、高齢者や障害者も含めてどんな人にも利用しやすいこと

手引き

- 情報通信機器を通して提供される情報やサービスについて使われることが多い。文脈によっては「使いやすさ」「接続しやすさ」「近づきやすさ」などと言い換えることもできる。また、「利便性」という漢語で言い換えることが適切になる場合もある。
- 「情報やサービスの利用しやすさ」「どんな人にも利用しやすいこと」のように、詳しく説明する方が分かりやすい場合も多い。
- 「アクセシビリティ」が意味する利用しやすさは、便利に利用できるように工夫された使い勝手の良さではなく、どんな人でも利用できるように工夫された利用しやすさのことである。概念を正確に伝える必要のある場合は、言い換えよりも説明を付けて用いることが望まれる。
- 高齢者や障害者に利用しやすい環境を整備していこうという方向は、「バリアフリー」（障壁なし・障壁除去）、「ユニバーサルデザイン」（万人向け設計）、「ノーマライゼーション」（等しく生きる社会の実現・等生化）などの外来語で表される概念の普及とともに、今後ますます重要視されていくと考えられる。これらの概念を普及させるためにも、分かりやすく言い換えたり説明を付けたりする必要性は高い。
- 交通手段が整っていて、交通が便利な状態を指して使われる場合もあるが、その場合は「交通便利性」「交通の便の良さ」などと言い換えることができる。

その他の言い換え語例

使いやすさ 接続しやすさ 近づきやすさ 利便性
交通便利性 交通の便の良さ

複合語例

情報アクセシビリティ = どんな人にも情報やサービスが利用しやすいこと
ウェブアクセシビリティ = インターネットの情報が利用しやすいこと

○アミューズメント

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 娯楽

用例

映画館とアミューズメント施設で、初年度七億円の売り上げを見込む。

意味説明

遊園地やコンピューター機器などによって提供される娯楽

手引き

○ 「アミューズメント」単独で施設や機器を指す場合もあり，その場合は「娯楽施設」「娯楽機器」と言い換えることができる。

その他の言い換え語例

娯楽施設 娯楽機器

複合語例

アミューズメントパーク = 遊園地

○オーガナイザー 全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 まとめ役

用例

協力体制を築くには、一つの組織にとらわれない視野を持った優れた
まとめ役
オーガナイザーの存在が求められる時代になるように思う。

意味説明

複雑な組織や企画をうまくまとめて運営する人

手引き

- 文脈によっては、「世話役」という言い換えが適切になる場合がある。
- 「オルガナイザー」という語形で用いられる場合があるが、意味は同じである。

その他の言い換え語例

世話役

○オーナーシップ

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語

(1) 所有権 (2) 主体性

用例

- (1) 国有から民有への^{所 有 権}オーナーシップの変更が経営成果の改善の主因であるのか
- (2) 被援助国政府の^{主 体 性}オーナーシップの下，援助国や国際機関との間で，密接な情報共有と意見交換を行い，

意味説明

- (1) 経営などにおいて，所有者である権利
- (2) 援助に頼らず，自立して主体的に取り組むこと

手引き

- (1) で所有者であるという意識を指すことがあるが，その場合は「所有者意識」と言い換えると分かりやすい。
- (2) は，途上国に対する開発援助にかかわる外交分野でしばしば用いられる。途上国自身が開発の主体であることを意識した取組を指し，それを支援する国際社会の協力関係を指す「パートナーシップ」の語と対になって使われることが多い。
- (2) で自分の問題であるという意識を指すことがあるが，その場合は「当事者意識」，そうした意識を持って自ら努力することを指す場合は「自助努力」と言い換えると分かりやすい。

その他の言い換え語例

(1) 所有者意識 (2) 当事者意識 自助努力

○オフサイトセンター 全 体 60歳以上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 原子力防災センター

用例

原子力防災センター
オフサイトセンターの訓練では、国が原子力緊急事態宣言を発令、防護対策の実施を指示した。

意味説明

原子力事故が発生した際に、現地で情報収集や避難指示などの対策を講じる機関

手引き

- 1999年に制定された「原子力災害対策特別措置法」によって、原子力施設の周辺に設置されることになった「緊急事態応急対策拠点施設」を指して「オフサイトセンター」と言われる。
- 原子力災害に関することが文脈から明らかな場合は、「現地防災センター」「現地対策拠点」あるいは「応急対策拠点」などの語で言い換えることもできる。
- より詳しい説明や言い換えが必要な場合は、「原子力災害現地対策拠点」の語を用いたり、また、「原子力災害の際の現地対策拠点」などと言うこともできる。
- 名称の中に「オフサイトセンター」を含む施設の場合は、必要に応じて、原子力の防災施設であることが分かる説明を付けるなどの配慮も望まれる。

その他の言い換え語例

緊急事態応急対策拠点施設 原子力災害現地対策拠点

○オペレーション

全 体 60 歳 以上
★★★★☆ ★★☆☆☆

言い換え語 (1) 公開市場操作 (2) 作戦行動

用例

- (1) 中央銀行の最大の政策手段は国債などの公開市場操作によるオペレーションによる資金の供給や吸収である。
- (2) 開戦となれば壮大な作戦行動になる。

意味説明

- (1) 中央銀行が証券などを売買して市場を操作する金融調節
(2) 軍事、政治、経営などにおける作戦の実施

手引き

- (1) は、中央銀行による市場操作を指す「オープンマーケットオペレーション」を略した語形として、よく使われる。
- (2) で、軍事について使われる場合は「軍事行動」と言い換えるのも分かりやすい。また、文脈によっては単に「作戦」と言い換える方が分かりやすい場合もある。
- 航空機の運航管理を行う本部を「オペレーションセンター」という場合があるが、分かりにくい向きに対しては、「運航管理センター」などと説明を付けるのが良い。
- 白書・新聞など公共性の高い媒体では、上記の意味で使われる場合がほとんどであるが、専門分野によっては、業務の様態に応じて、「操作」「作業」といった意味で用いられる場合も多い。
- 定着に向かっている語だと思われ、「オペレーション」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

- (2) 軍事行動 作戦

複合語例

- (2) オペレーションセンター = 作戦本部 運航管理センター

○カスタムメイド 全 体 60歳以上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 特注生産

用例

客の要望を聞いてデザインする^{特注生産}カスタムメイドの眼鏡枠製造も手掛ける。

意味説明

客の好みに応じて、特別の仕様で作られること

手引き

- 「カスタム」は、特注、あつらえ、「メイド」は作られることを意味する。
- 生産物を指す場合もあるが、その場合は「特注品」「あつらえ品」と言い換えることができる。
- 類義語に、注文を受けて作られることを意味する「オーダーメイド」（和製語）があり、「受注生産」と言い換えることができる。「カスタムメイド」と「オーダーメイド」は同じ意味で用いられる場合もある。

その他の言い換え語例

受注生産 特注品 あつらえ品

○クライアント

全 体 60 歳 以 上
★★★★ ☆☆☆

言い換え語 顧客

用例

より高い見解・見識を示さないと^{顧 客}クライアントから信頼と敬意を得られない状況になっている。

意味説明

注文や問題の解決のために、専門家や専門機関に依頼する人や組織

手引き

- 様々な業種において用いられているが、注文や求める内容に応じて、**その他の言い換え語例**に掲げる言い換え語を使い分けることも、効果的である。
- ネットワークでつながったコンピューターで、情報の提供を受ける側のコンピューターを指して「クライアント」ということがあるが、この場合は「端末」「端末機」「利用側のコンピューター」などと言い換えたり説明を付けたりすることができる。
- 医療の分野では「クライアント」の語形が用いられることもあるが、意味は同じである。

その他の言い換え語例

客 注文主 依頼主 相談者 利用者 患者

○コージェネレーション

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 熱電併給

用例

自動車用や家庭用熱電併給コージェネレーションなど応用分野では、小型化や低価格化が今後の技術課題になっており

意味説明

電気と熱とを同時に作り出して供給すること

手引き

- 異なる種類のエネルギーを同時に作り出すことが原義であるが、発電設備の排熱を利用する場合など、電気と熱とを同時に作り出すことを指すのが一般的である。
- エネルギーの供給を、費用をかけず、また環境にも影響を与えないで、効率的に行うための仕組みを指し、今後普及が進むものと考えられる。
- 「併給」の語が分かりにくいと感じられる場合は、「熱電同時供給」の語を用いたり、また、**意味説明**に示す語句で説明を加えることなどが考えられる。
- 「コ・ジェネレーション」と表記される場合や、略して「コージェネ」と言われる場合もあるが、意味は同じである。

その他の言い換え語例

熱電同時供給

○コンポスト 全 体 60歳以上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 たい肥 生ゴミたい肥化装置

用例

単にごみを処理するという考えだけでなく、良質の^{たい肥}コンポストを作るという気持ち
ちが大切です、

総菜や弁当の売れ残りなどを^{生ゴミたい肥化装置}コンポストに投入して

意味説明

たい肥。また、生ごみからたい肥を作り出すための装置。

手引き

- 廃棄物の再生利用を促進し、化学肥料による土地汚染を防ぐ、環境保全の立場で
話題になることが多い。
- 漢字を用いて「堆肥^{たいひ}」と書くこともできるが、「堆」は常用漢字外の難しい字であ
るので、振り仮名を付けるのが望ましい。
- 生ごみをたい肥にする装置を指す場合は、「生ゴミたい肥化装置」と言い換えるこ
ともできる。

○サプリメント

全 体 60 歳 以 上
★★★★☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 栄養補助食品

用例

「野菜や果物が不足気味」と判定され、数種類の^{栄養補助食品}サプリメントを食事に合わせて取るように指示された。

意味説明

通常の食事だけでは不足しがちな栄養を補うための食品

手引き

- 形状は、錠剤・カプセル・粉末・液体など様々なものがあるが、液体のものの場合、「栄養補助飲料」と言い換えることもできる。
- 1990年代後半から一般化が始まり、急速に普及が進んでいると見られる。ただし、60歳以上では理解できない人も多い語であるので、言い換えや説明付与の必要性は高い。

その他の言い換え語例

栄養補助飲料

○サムターン 全 体 60歳以上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 うちかぎ
内鍵つまみ

用例

特殊な形をした工具や針金を差し込んで^{内鍵つまみ}サムターンを回して解錠する手口。

意味説明

ドアの鍵の内側に取り付けられている回転式のとつまみ

手引き

- 「サム」は親指、「ターン」は回転の意味で、鍵の内側のつまみが親指状をしていたところからこの呼び名がある。形状の異なるつまみも「サムターン」と呼ばれることがある。

- つまみの部分だけでなく、内鍵自体を指す場合もあり、その場合は「内鍵」と言い換えることができる。

- 扉に穴を開けて特殊な器具で内鍵のつまみを回す窃盗の手口を指す「サムターン回し」の語によって、2002年ごろから広まり始めた。

その他の言い換え語例

うちかぎ
内鍵

複合語例

サムターン回し = ^{うちかぎ}内鍵回し

○センサス 全 体 60歳以上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 全数調査 大規模調査

用例

国勢調査など公式の^{全数調査}センサスのデータを地図に表現した

同省が開発した^{大規模調査}センサスの手法は、

意味説明

人口や産業など、国や地域の様々な側面に関して、調査対象のすべてを調べる統計調査。また、それと同程度の大規模な調査。

手引き

- 調査対象をある方針によって抽出して調査を行う「抽出調査」あるいは「標本調査」に対して、すべての対象を調査する「全数調査」を指して、「センサス」と言うのが一般的である。
- 標本調査であっても非常に大規模で、全数調査と同程度の詳しい結果が得られる調査を「センサス」と呼ぶことがある。「大規模調査」は、その場合の言い換え語である。また、全数でないことを示して「大規模標本調査」と言い換えることもできる。
- 「センサス」は、総務省が5年ごとに実施する最大規模の調査を指して使われることがあるが、この場合は「国勢調査」の語が定着している。
- 全国規模の調査であることを示したい場合は、「全国調査」と言い換えることもできる。
- 「〇〇センサス」などの調査名を引用する場合なども、「〇〇についての全数調査」「〇〇についての大規模調査」「〇〇全国調査」などと、説明を付与することが望まれる。

その他の言い換え語例

大規模標本調査 国勢調査 全国調査

○ソフトランディング

全 体 60 歳 以上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語

軟着陸

用例

この対立をソフトランディングさせるには政治の力が欠かせない。

意味説明

高揚した状態から安定した状態に緩やかにもっていくこと

手引き

- 本来は、ロケットが月面等に激突しないで緩やかに着陸することを指す語であるが、経済用語として、高度成長から安定成長に緩やかにもっていくことを表す語として広まった。さらに、状況の改変を緩かに進めて安定させるという意味で、経済以外の分野でも広く用いられている。
- 反意語「ハードランディング」は、「強行着陸」と言い換えられる。

○デポジット 全 体 60歳以上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 預かり金

用例

飲食店コーナーでは環境問題を意識して食器の^{預かり金}デポジット方式を導入した。

意味説明

容器代などとしてあらかじめ支払っておき、使用后、返却するときに払い戻される料金

手引き

- 飲物の容器など、廃棄物を効率的に回収する制度として導入されている料金を指し、「デポジット制度」の形で用いられることが多い。
- 預かり金が払い戻されることに着眼して、「預かり金払い戻し」と言い換えると、制度の特徴を端的に示せる点で、分かりやすい。
- 「デポジット」単独で、制度を表すことも多いが、その場合は「預かり金制度」「預かり金払い戻し制度」と言い換えることができる。
- この制度は、容器を再使用するために回収する制度を指す場合が多い。その再使用や回収に関して、「リユース」、「リターナブル」と言われることがあるが、それぞれ「リユース」は「再使用」、「リターナブル」は「回収再使用」「再使用できる」などと言い換えることができる。
- 何についての預かり金を明示して、「瓶代預かり」「容器代預かり」などと言い換えるのも分かりやすい。

その他の言い換え語例

預かり金払い戻し 預かり金制度 預かり金払い戻し制度
瓶代預かり 容器代預かり

複合語例

デポジット制度 = 預かり金制度 預かり金払い戻し制度

○ドナー 全 体 60 歳 以 上
★★★★☆ ★★★★★

言い換え語 (1) 臓器提供者 (2) 資金提供国

用例

- (1) 脳死と判定された^{臓器提供者}ドナーの心臓と両肺を一人に移植する「心肺同時移植」の患者が
- (2) わが国は他の^{資金提供国}ドナーとの政策協議を積極的に行っており、2000年度に二国間援助協議を行った国は9か国にのぼりました。

意味説明

- (1) 移植手術において臓器などを提供する人
(2) 政府開発援助において資金を提供する国

手引き

- 医療の分野で臓器移植における臓器提供者を指す場合が最も一般的であるが、行政の分野で、国際援助における資金提供国を指す場合もある。
- (1) は、臓器のほか、骨髄移植や^{さいたいけつ}臍帯血移植における^{さいたいけつ}臍帯血の提供者を指して使われることもある。何を提供するかを具体的に示して「心臓提供者」「骨髄提供者」などと言い換えるのも分かりやすい。
- (2) は、国家による援助だけでなく、団体や個人による援助の場合にも用いられることがある。その場合は、「資金提供者」と言い換えることができる。
- 臓器や資金の提供を受ける側を指して、「レシピエント」と言うことがある。この場合は、「移植患者」「移植希望者」「援助受け入れ国」などと言い換えられる。
- 定着に向かっている語だと思われ、「ドナー」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

- (1) 心臓提供者 骨髄提供者 (2) 援助国 資金提供者

複合語例

- (1) ドナーカード = 臓器提供意思表示カード
(2) ドナー国 = 資金提供国

○トラウマ

全 体 60 歳 以上
★★★★☆ ★★★★★

言い換え語 心の傷

用例

犯罪に巻き込まれた心の傷 トラウマを軽減する仕組みとして注目されているが

意味説明

強いショックによって受ける、後々まで消えない心の傷

手引き

- 元来は傷を意味する語であるが、精神医学の分野で、強いショックによって心に受ける深い傷を意味する語として使われるようになった。「心の傷」と言い換えるのが最も分かりやすいが、やや硬い場面や、「トラウマに陥る」などの文脈では、「心的外傷」という言い換え語が適切になる場合もある。
- 定着に向かっている語だと思われ、「トラウマ」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし 60 歳以上では、半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

心的外傷

○ナノテクノロジー

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 超微細技術

用例

話題の^{超微細技術}ナノテクノロジーや宇宙開発をテーマにしたコーナーを設け

意味説明

十億分の一メートル程度の非常に微細な規模で物質を扱う技術

手引き

- 「ナノ」は十億分の一の意味で、ナノメートルという非常に微細な規模で、原子や分子の配列を制御できる技術を指して、「ナノテクノロジー」と言う。
- 「超微細技術」と言い換えると、十億分の一という具体的な規模が表せないので、正確な意味を伝える必要のある場合は、**意味説明**に記した語句などを用いて、説明を付与する必要がある。
- 2001 年度の「経済財政基本方針（骨太の方針）」において、科学技術創造立国の実現を目指すための重点施策の一つとされたことを機に、一般にも広まり始めた。
- 略語「ナノテク」が用いられることもあるが、意味は同じである。

○ネグレクト 全 体 60歳以上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 (1) 育児放棄 (2) 無視

用例

- (1) 育児放棄による虚弱や食生活の乱れによる肥満など表面化しない虐待を受けた児童は行き場がほとんどないのが実情だ。
- (2) 最も民主政治の根本にかかわる問題について無視してしまっている。

意味説明

- (1) 親などが、保護者として行わなければならない乳幼児や児童の養育を放棄すること
- (2) 取り合わず無視すること

手引き

- (2) の意味で用いられることは以前からあったが、一般には余り広まらなかった。「児童虐待防止法」(2000年施行)の制定を機に、(1)の意味で用いられることが急増し、一般にも広まり始めた。
- 「児童虐待防止法」(2000年施行, 2004年改正)では、児童虐待の一つとして「児童の心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は長時間の放置」「保護者としての監護を著しく怠ること」を挙げる。これを指して「ネグレクト」と言われることがあるが、一般には分かりにくい。
- 上記の法律では他に、身体的な虐待、性的な虐待、心理的な虐待を、児童虐待として規定している。
- 児童に対する場合のほかに、高齢者や障害者に対する介護を放棄することを指して使われることがあり、「介護放棄」と言い換えることができる。児童、高齢者、障害者を包括して、「世話の放棄」などと言い換えることも考えられる。

その他の言い換え語例

- (1) 介護放棄 世話の放棄

○バイオテクノロジー

全 体 60 歳 以 上
★★★★☆ ★★☆☆☆

言い換え語

生命工学

用例

遺伝子研究など、生命工学の基礎研究から取り組み始めたのだ。

意味説明

生物の機能を工学的に応用した研究や技術

手引き

- 「バイオテクノロジー」は、遺伝子組み換えや人工生命などの先端科学に関する報道などを通して一般の人の目に触れやすくなっているが、こうした場合は「生命工学」と言い換えるのが分かりやすい。
- 「バイオテクノロジー」は本来、植物や微生物も含めて、生物全般の機能を工学的に応用する研究を広く指し、こうした場合は「生物工学」と言い換える方が適切である。
- 研究よりも技術に焦点の当たる場合は、「生命技術」と言い換えることが適切な場合もある。
- 定着に向かっている語だと思われ、「バイオテクノロジー」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし 60 歳以上では、半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。
- 略して「バイオ」という語形が用いられることもあるが、定着度は「バイオテクノロジー」よりも低く（全体★★☆☆、60 歳以上★☆☆☆）、分かりにくい。

その他の言い換え語例

生物工学 生命技術

○バイオマス

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語

生物由来資源

用例

稲わらはもちろんおがくずや米ぬかなど様々な^{生物由来資源}バイオマス_{を原料として利用}できることと

意味説明

エネルギーなどとして利用することができる、生物に由来する資源

手引き

- 特定の地域に生息する生物の全体量を指す、生態学の専門用語として、従来用いられてきたが、環境問題への対応の中から新しい使われ方が生まれ、広まりつつある。
- 1990年代後半から、循環型社会の実現に向け、農林・水産・畜産業において、従来は廃棄され利用されていなかった家畜の排せつ物や生ごみ、木くず、もみガラなどを、資源として重視する考え方が広まり始めた。
- 生物から生み出されたこのような再生可能な資源を「バイオマス」と言う。2002年に閣議決定された「バイオマス・ニッポン総合戦略」により、多方面で「バイオマス」の普及が図られている。
- 環境を保全しながらエネルギーを確保することのできる新しい資源である「バイオマス」は、石油などへの依存を脱していくことが望まれている現代社会にとって、重要性を増すと考えられる。その普及のためにも、言い換えや説明付与の必要性は高い。
- 「バイオマス」は、動物よりも植物に由来する資源であることが一般的で、この点に着眼して、「植物由来資源」という語を用いることも考えられる。例えば、「バイオマスプラスチック」は植物由来のバイオマスによって作られるプラスチックである。
- 「生物に由来する資源」などと説明的な語句を用いることも考えられる。

その他の言い換え語例

植物由来資源

複合語例

バイオマスエネルギー = 生物由来エネルギー

バイオマスプラスチック = 植物由来プラスチック

○ハイブリッド

全 体 60 歳 以上
★★☆☆ ★☆☆☆

言い換え語

複合型

用例

軽油に代わる燃料の開発，あるいはディーゼルと他の動力源による複合型ハイブリッドが模索されている。

意味説明

異種のもの同士が組み合わせられて，新しいものができること。また，新しくできたもの。

手引き

- 「ハイブリッド○○」の形で，様々な複合語を構成するが，その多くは「複合○○」と言い換えると分かりやすくなる。
- ガソリンエンジンのほかにも動力源を持ち，ガソリン消費量を抑えて走ることのできる「ハイブリッド車」「ハイブリッドカー」は，「複合動力車」という言い換え語が適切である。
- 植物や動物における種の掛け合わせを指す場合は，「異種混合」などと言い換えるのが適切である。

その他の言い換え語例

複合 複合物 異種混合

複合語例

ハイブリッド車，ハイブリッドカー = 複合動力車
ハイブリッド発電 = 複合発電
ハイブリッド型 = 複合型 ハイブリッド式 = 複合式

○ヒートアイランド

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 都市高温化

用例

都市高温化
ヒートアイランドは温暖化の縮図であり、有効な対策を打てればそのまま温暖化対策にもなる。

意味説明

都市部の気温が周辺部より高くなる現象

手引き

- 等温図を描いたときに、都市部の気温が周辺部よりも高い様子が、島状になって現れるところからの呼び名である。
- 「熱の島」と言い換えることもできるが、その場合も「熱の島（都市高温化）」などと、説明を付与する必要がある。
- 1990年代後半からよく使われるようになったが、意味を理解している人は少ないので、言い換えや説明付与の必要性は高い。

その他の言い換え語例

熱の島

○ビオトープ

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 生物生息空間

用例

陸域から海岸域までの^{生物生息空間} ビオトープを形成するための海と陸の緑のネットワーク事業を実施します。

意味説明

小川や池など、野生の生物が生息できる環境を人工的に作った空間

手引き

- 「ビオトープ」で生物の生態を観察するという側面に焦点を当てる場合は、「生態観察園」の語を用いることもできる。庭園風に作ったものを「ビオガーデン」という場合もあるが、同じく「生態観察園」と言い換えることができる。
- 「ビオトープ」と呼ばれている場所を紹介する場合も、**言い換え語**や**その他の言い換え語例**、あるいは**意味説明**の語句などを用いて、説明を付与することが望ましい。

その他の言い換え語例

野生生物の生息空間 生態観察園

○フリーランス

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 自由契約

用例

パソコンやインターネットを使って活動する自由契約フリーランスの若い芸術家が多いことから

意味説明

特定の組織などに所属せず、自由な立場で活動すること

手引き

- 「フリーランサー」の形で、自由な立場で活動する人を指す言い方があり、また、「フリーランス」で人を指す場合もある。こうした場合は、「自由契約者」と言い換えることができる。

その他の言い換え語例

自由契約者

○メディカルチェック

全 体 60 歳 以上
★★★★☆ ★★☆☆☆

言い換え語 医学的検査

用例

医学的検査
メディカルチェックによって身体の異常や病気の有無を確認しておく必要がある。

意味説明

運動に備えて事前に行う医学的な検査

手引き

- 運動前の検査のほか、スポーツ選手の入団や大会出場の前に行われる検査を指して用いられることが多い。
- 場面や文脈によっては、従来からある「健康診断」「身体検査」などの語を用いる方が分かりやすい場合もある。
- 定着に向かっている語だと思われ、「メディカルチェック」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし 60 歳以上では、半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。
- 和製語

その他の言い換え語例

健康診断 身体検査

○リードタイム 全 体 60 歳 以 上
 ★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 事前所要時間

用例

開発から製造までの^{事前所要時間}リードタイムを短縮することは、製造業にとって極めて重要
な課題であるが

意味説明

企画から生産開始まで、発注から納品までといった、事業の本格的展開の前に要する時間

手引き

- 何に要する期間であるかを示して、「企画から生産開始までに要する期間」などと説明的な言い方をしたり、「調達期間」「製造期間」「開発期間」などと言い換えてたりする方が分かりやすい場合もある。

その他の言い換え語例

調達期間 製造期間 開発期間

○リターナブル 全 体 60歳以上
☆☆☆☆ ☆☆☆☆

言い換え語 回収再使用

用例

容器の^{回収再使用}リターナブルがどうあるべきかを考える。

意味説明

一度使った容器などが回収洗浄され、もう一度使える様子

手引き

- 文脈によっては、「回収して再使用できる」あるいは単に「再使用できる」「回収できる」などと言い換えたり、説明を付与したりするのが分かりやすい場合もある。
- 「リターナブル瓶」という形で用いられることが多いが、「再使用瓶」「回収瓶」などと言い換えるのが分かりやすい。
- 類似の語に「リユース」があり、「リユース」が再使用することを広く表すのに対し、「リターナブル」は、回収して再使用すること、あるいは再使用できる様子を表す。ただし、「リターナブル瓶」「リユース瓶」，「リターナブル容器」「リユース容器」という場合など、両者が同じような意味で用いられることもある。
- 「リターナブル瓶」の反意語に、一回だけ使用して再使用されない瓶を指す「ワンウェイ瓶」があるが、「一回瓶」「使い捨て瓶」などと言い換えることができる。「一回瓶」はそのまま再使用されることはないが、中には再生利用されるものもある。
- 容器などの回収再使用を効率的に進めるために、あらかじめ容器代を預かっておき回収時に払い戻す制度（デポジット制度）も、試みが始まっている。「デポジット」は「預かり金」と言い換えることができる。

その他の言い換え語例

回収して再使用できる 再使用できる 回収できる

複合語例

リターナブル瓶 = 再使用瓶 回収瓶

○リデュース 全 体 60 歳以上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 ごみ発生抑制

用例 ごみ発生抑制
北九州市はリデュースの取り組みを始めた。

意味説明 ごみになるものの発生を抑制すること

手引き

- 英語の reduce は、減らすことを意味するが、外来語「リデュース」は、環境分野で、ごみを減らすことを意味する語として取り入れられた。
- 天然資源の消費を抑え環境への負担を減らす循環型社会の実現に向け、国が策定した「循環型社会形成推進基本計画」(2003 年) に、廃棄物の発生を抑制する「リデュース」、使用済みの製品を再使用する「リユース」、廃棄物を原材料にして別の製品を作る「リサイクル」の三つが、「3 R」としてうたわれている。
- 「3 R」を話題にする場合も、「リデュース (ごみ発生抑制)」「リユース (再使用)」「リサイクル (再生利用)」などのように説明を付けたり、言い換えたりする配慮が望まれる。
- 「リユース (再使用)」や「リサイクル (再生利用)」が、再び使うための処理の過程で環境に負担をかけるのに対して、「リデュース (ごみ発生抑制)」は、ごみになるもの自体の発生を抑えるものである。環境に対して負担をかけない「リデュース (ごみ発生抑制)」は、循環型社会実現のための「3 R」の取組の中では、最も優先度が高いと言える。
- 「廃棄物の発生抑制」「ごみの減量」「ごみを減らすこと」「ごみをなるべく出さないこと」のように、説明的な語句を用いるのも分かりやすい。

その他の言い換え語例

発生抑制 廃棄物の発生抑制 ごみの減量 ごみをなるべく出さないこと

○リバウンド

全 体 60 歳 以 上
★★★★☆ ★★☆☆☆

言い換え語

揺り戻し

用例

薬をやめると揺り戻しのリバウンドがあるので、一度にやめなくて、医師と相談して量を減らしながら様子を見ていくのが良い。

意味説明

ある方向に進んでいたものが、もとの方向に戻ることを

手引き

- 「リバウンド」は、服薬や減量において、よりよい方向に向かっていたものが、反対に悪い方向に戻ってしまうことを指して使われることが多い。
- 言い換え語「揺り戻し」の「揺り」は、揺さぶる意味の動詞「揺る」であり、「揺り戻し」は、揺さぶられてある方向に進んでいたものが、もとの方向に戻されてしまうことを意味する。また、同じような意味を表す「反動」と言い換えることもできる。
- バasketボールなどの球技で、ボールが跳ね返ることを指して「リバウンド」という場合がある。スポーツに縁の遠い人に意味を伝えたい場合は、「跳ね返り」などの語を用いて説明を付与するとよい。
- 株式の用語で、下落した株価が上昇に転じることを言う場合があるが、「反発」などの語で言い換えることができる。
- 定着に向かっている語だと思われ、「リバウンド」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

反動 跳ね返り 反発

○リユース 全 体 60歳以上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 再使用

用例

建材の70%を^{再使用}リユースするため販売価格は新築よりも約40%安くなります。

意味説明 一度使用したものを再度使用すること

手引き

- 天然資源の消費を抑え環境への負担を減らす循環型社会の実現に向け、国が策定した「循環型社会形成推進基本計画」(2003年)に、廃棄物の発生を抑制する「リデュース」、使用済みの製品を再使用する「リユース」、廃棄物を原材料にして別の製品を作る「リサイクル」の三つが、「3R」としてうたわれている。
- 「3R」を話題にする場合も、「リデュース(ごみ発生抑制)」「リユース(再使用)」「リサイクル(再生利用)」などのように説明を付けたり、言い換えたりする配慮が望まれる。
- 「リサイクル」は、一般には、「3R」で言われている「リユース(再使用)」と「リサイクル(再生利用)」とを合わせた意味に理解されていることが多い。「3R」の考え方を説明する場合には、この点にも注意が必要である。
- 「リユース(再使用)」は洗うなどしてそのまま繰り返し使うことであり、「リサイクル(再生利用)」は溶かしたり砕いたりして原料に戻してから新しい製品を作ることである。循環型社会実現のための「3R」の取組の中では、「リユース(再使用)」の方が、「リサイクル(再生利用)」よりも環境にかかる負担が小さく、優先度は高い。
- 「もう一度使うこと」「繰り返し使うこと」などと説明的な語句を用いるのも分かりやすい。
- 類似の意味の語に「リターナブル」がある。「リターナブル」は、回収して再使用できる様子を表し、再使用することを広く表す「リユース」の意味の一部を表している。

その他の言い換え語例

繰り返し使うこと

○リリース 全 体 60 歳 以上
★★★★☆ ★★★★★

言い換え語 発表

用例

久しぶりに自ら手がけた楽曲をリリースした。

意味説明

作品や情報などを発表すること

手引き

- 何をどのように発表するかに応じて、「公開」「発売」「封切り」などの言い換え語が適切になる場合もある。
- 定着に向かっている語だと思われ、「リリース」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし 60 歳以上では、半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。
- 釣り上げた魚を放流することを指して用いられることもあるが、その場合は、「放流」などの語を用いて説明を付けることができる。

その他の言い換え語例

公開 発売 封切り

複合語例

プレスリリース = 報道発表

○レシピエント

全 体 60 歳 以上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 移植患者

用例

脳死移植の定着には、移植患者
レシピエントが順調に回復し、国民が移植医療の威力を
肌で感じることも大切だ。

意味説明

移植手術において臓器などの提供を受ける人

手引き

- 臓器などの提供を希望する人を指す場合は「移植希望者」と言い換えるのが分かりやすい。また、「移植を受ける人」「移植を待つ人」のような句の形で言い換えるのも分かりやすい。
- 臓器のほか、骨髄移植や^{さいたいけつ}臍帯血移植における骨髄や^{さいたいけつ}臍帯血を受け取る人を指して使われることもある。何を受け取る人かを具体的に示して「臓器受容者」「骨髄受容者」あるいは「心臓移植希望者」などと言い換えるのも、分かりやすい。
- 政府開発援助において援助国からの資金を受け取る国を「レシピエント」ということがあるが、この場合は「援助受け入れ国」などと言い換えることができる。
- 臓器などや資金を提供する側を指して、「ドナー」と言われることがある。この場合は、「臓器提供者」「資金提供国」などと言い換えることができる。

その他の言い換え語例

移植希望者 移植を受ける人 移植を待つ人 臓器受容者 骨髄受容者
心臓移植希望者 援助受け入れ国

○ワークシェアリング 全 体 60歳以上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 仕事の分かち合い

用例 日本でも今後仕事の分かち合い
ワークシェアリングが普及する可能性が出てきた。

意味説明 一人当たりの労働時間を短くし、多くの人で仕事を分かち合うこと

手引き

- 一人当たりの労働時間を短縮し、多くの人々の雇用を維持・創出しようという考え方であり、具体的な取組には幾つかの形がある。
- 従来からよく言われてきたのは、景気の悪化を乗り越えることなどのために、従業員一人当たりの勤務時間を短縮して、多くの従業員の雇用を維持しようとする取組である。
- 最近注目されてきているのは、短時間労働者を正社員として雇用する機会を増やし、過剰な残業を減らしたり、生涯段階に応じて働き方を選べるようにしたりする取組である。社会全体で仕事を分かち合おうとする取組であるが、「多様な働き方のできる職場環境の整備」などと説明することも考えられる。
- 上記の二つの形は、2002年に政府・日経連・連合により合意された「ワークシェアリングについての基本的な考え方」の中に、それぞれ「緊急対応型ワークシェアリング」「多様就業型ワークシェアリング」として、盛り込まれている。
- 「ワークシェア」という語形で用いられることもあるが、意味は同じである。

その他の言い換え語例

多様な働き方のできる職場環境の整備

○ワンストップ

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 一箇所

用例

一 箇 所
ワンストップであらゆる相談に応じることで利用者の利便性が増す。

意味説明

複数の用事を一箇所で済ませられること

手引き

- 「ワンストップ化」「ワンストップサービス」「ワンストップショッピング」などの複合語で用いられることが多い。「ワンストップ」の形であっても、実際にはこれらの複合語の後半を省略して用いている場合が多いので、注意が必要である。文脈に応じて、「窓口一元化」「総合窓口」「総合店舗」などの言い換え語を使い分けるのも分かりやすい。
- 「一箇所」の「箇」は常用漢字であるが、新聞などでは「一か所」「一カ所」「一ヶ所」などと仮名を用いて書くこともある。

その他の言い換え語例

一箇所集中 窓口一元化 総合窓口

複合語例

ワンストップ化 = 窓口一元化
ワンストップサービス = 総合窓口 窓口一元化
ワンストップショッピング = 総合店舗 窓口一元化

国立国語研究所「外来語」委員会 設立趣意書

この委員会は、分かりにくい「外来語」について言葉遣いを工夫し提案することを目的としています。

○外来語・外国語の問題点

近年、片仮名やローマ字で書かれた目新しい外来語・外国語が、公的な役割を担う官庁の白書や広報紙、また、日々の生活と切り離すことのできない新聞・雑誌・テレビなどで数多く使われていると指摘されています。例えば、高齢者の介護や福祉に関する広報紙の記事は、読み手であるお年寄りに配慮した表現を用いることが、本来何よりも大切にされなければならないはずです。多くの人を対象とする新聞・放送等においても、一般になじみの薄い専門用語を不用意に使わないよう十分に注意する必要があります。ところが、外来語・外国語の使用状況を見ると、読み手の分かりやすさに対する配慮よりも、書き手の使いやすさを優先しているように見受けられることがしばしばあります。

○伝え合いとしての言葉を

そもそも、どんな言葉を使うのが適切かということは、話し手・書き手の意図、想定される聞き手・読み手、話題、使われる環境など、その時々様々条件によって変わります。同じ内容の話をするにしても、大人に話すときと子どもに話すときでは、使う単語、声の調子、話す速さ、文の長さなどが変わってきて当然です。また、同じ大人でも、相手がその話題に通じているかどうかによって、言葉選びや言葉遣いにおのずと違いが出てきます。相手や場面に応じて、適切な言葉遣いが変わることにいつも留意することが大切です。このことは、私たちの言葉について国語審議会がかねて提言してきた「平明で、的確で、美しく、豊かであること」を実現する具体的な努力の一つと考えます。

○分かりやすい言葉を求めて

外来語には、これまで日本になかった事物や思考を表現する言葉として、日本語をより豊かにするという優れた面もあります。しかしその一方で、むやみに多用すると円滑な伝え合いの障害となる面も出てきます。とりわけ官庁・報道機関など公共性の強い組織が、なじみの薄い外来語を不特定多数の人に向けて使用する時、そこに様々な支障が生じることになります。これらの組織ではそうした事態を招かないよう、それぞれの指針に基づいて言い換えや注釈などの工夫を施した上で外来語を使用することが大切です。それと同時に、その指針や工夫を公共の財産として共有する方向に進んでいくことが望ましいとも考えます。

○委員会の目指すところ

以上のような認識に立って、この委員会では、まず国の省庁の行政白書を、その後は新聞や雑誌など公共性の強いものを対象として、一般に分かりにくい外来語が使われていないか、使われていればそれに換えるべき分かりやすい言葉や表現としてどんなものがあるかを検討します。そして、それに基づいて個々の外来語に対する考え方やその言い換え例を含めた、緩やかな目安・よりどころを具体的に提案することを目指しています。この委員会の提案がきっかけとなり、より多くの人々がそれぞれの立場で、私たちの大切な日本語について考えていく機会が生まれることになれば幸いです。

国立国語研究所「外来語」委員会 委員名簿

- 委員長 杉 戸 清 樹 (国立国語研究所長)
- 副委員長 水 谷 修 (名古屋外国語大学長)
- 副委員長 中 西 進 (京都市立芸術大学長)
- 相 澤 正 夫 (国立国語研究所研究開発部門長)
- 阿 辻 哲 次 (京都大学大学院人間環境学研究科教授)
- 甲 斐 睦 朗 (前国立国語研究所長)
- 倉 島 節 尚 (大正大学文学部教授)
- 神 津 十 月 (作家)
- 古 賀 節 子 (青山学院大学名誉教授)
- 興 水 優 (東京外国語大学名誉教授)
- 佐 藤 宏 (小学館コミュニケーション編集局・国語辞典編集部長)
- 柴 田 実 (NHK 放送文化研究所用語研究班主任研究員・解説委員)
- 陣 内 正 敬 (関西学院大学総合政策学部教授)
- 関 根 健 一 (読売新聞東京本社用語委員会幹事)
- 田 中 牧 郎 (国立国語研究所研究開発部門第一領域主任研究員)
- 鳥 飼 玖美子 (立教大学観光学部・異文化コミュニケーション研究科教授)
- 中 山 恵利子 (阪南大学国際コミュニケーション学部教授)
- 長谷川 眞理子 (総合研究大学院大学葉山高等研究センター教授)
- 福 田 亮 (朝日新聞東京本社校閲部用語幹事補佐)
- 松 岡 和 子 (翻訳家・演劇評論家)
- 山 崎 誠 (国立国語研究所研究開発部門第一領域長)